

令和3年12月定例会 あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会12月定例会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

いよいよ2021年も残すところ最後、一ヶ月となりました。今年はコロナ禍での生活、私たちの日々の暮らしにいろいろな配慮が欠かせない1年であったと思います。けれども、皆さまのご理解、ご協力により、町は一つになって、早期に対策へ取り組むことができました。心から感謝を申し上げます。

また、今年の冬は、偏西風の影響等で、西日本地域は少し例年より寒くなることが予測されています。町民に皆さまには、くれぐれも体調に注意をしていただき、令和3年、最後の月を心穏やかに過ごしていただき、新しい年を迎えていただくことをお祈り申し上げます。

さて令和初、10月末の衆議院総選挙は、人々の暮らしの「安定」と「未来」を期待する選挙となり、現政権与党である自民党が単独で、絶対安定多数を獲得し、第2次岸田内閣による国政運営が本格的にスタートすることとなりました。11月19日には、「コロナ克服・新時代開拓の経済対策」と題して、新型コロナウイルス感染症拡大防止はもとより、ウィズコロナ禍における社会経済活動を再開、そして、新しい成長、分配戦略および国土強靱化の四つの柱に対して、55.7兆円の財政支出が閣議決定されました。本町としましても、引き続き、3回目のワクチン接種などの感染対策を進めながら、社会経済活動の両立を図り、「迅速」に町の成長戦略につなげていくよう進めてまいります。

一方、このような国の政策により経済活動が徐々に動き始めながらも、依然厳しい社会・経済環境が予測されており、加えて人口減少、高齢化は急速に進んでおります。しかし、このような厳しい国家状況下ですが、本町では約半世紀にわたり、「国土」、「社会」、「人間」の三つの健康づくりを柱に、まちづくりを進めてきたことから、少し違った状況が見え始めています。具体的には、令和2年度の国勢調査の速報値において、人口増加率は全国10位、人口は平成9年度から約20%増えております。福岡都市圏の周辺自治体においても高齢化が進む中で、本町は平成29年をピークに減少が始まり、多子若年化に向かっています。また、昨今、「田園都市構想」という言葉が注目され、新内閣の成長戦略でも、「デジタル田園都市構想」が掲げられています。この構想は、今から約40年前の大平首相時代から始まり、「地方の時代」を先取りした発想であったと評価を受けています。まさに約半世紀にわたり、「健康田園都市の実現」を目指してきた本町が、評価される時代の到来であると言えます。

このように、これまで積み重ねてきたまちづくりの礎を活かし、後退することなく、この先の「10年」に向けた新たな成長戦略を描き、「第4次久山町総合計画」を策定中です。久山町の強みを生かした新たなステージに挑戦していくことを目指し、引き続き総合計画審議会の委員の皆さまとの議論を重ねてまいります。

町民の皆さまの「安心」・「安全」を第一に、そして、さらには、誰もが将来への「希望」が持てる、まちづくりに向かって、行政一丸となって取り組んでまいり所存であります。引き続き、議会の皆さまのご協力をお願いいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

さて、本12月議会に提案いたしますのは、条例の制定・改正および補正予算などの11議案でご

ございます。

詳細につきましては、担当課長よりご説明を申し上げますので、ご審議のほどよろしくお
願い
を申し上げます。

令和3年11月30日

久山町長 西村 勝